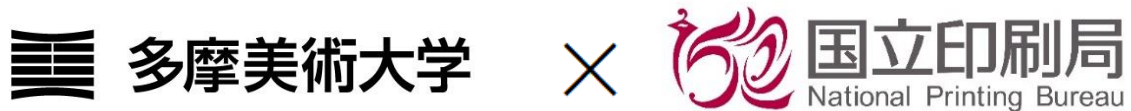


報道関係各位

国立印刷局の工芸官による特別講義を5/30（金）開催

～ 日本銀行券と国立印刷局工芸官の技巧 ～



国立印刷局は、2025 年 5 月 30 日（金）に多摩美術大学（所在地：東京都世田谷区・八王子市/学長：内藤 廣）にて国立印刷局の工芸官が絵画学科版画専攻等の学生を対象とした特別講義を開催します。

この取組は、国内の芸術系・美術系大学において、専門の技術者である「工芸官」の技巧に関する講義を実施するなど、日本の文化芸術の振興に寄与した功績が認められ、令和 6 年度「文化庁長官特別表彰」を受賞したものです。「文化庁長官特別表彰」は、文化活動に優れた成果を示し、我が国の文化の振興に貢献された方々、又は、日本文化の海外発信、国際文化交流に貢献された方々のうち、発信力の高い方や団体に対し、その功績をたたえ文化庁長官から表彰するものです。なお、今回の国立印刷局への表彰は、平成元年（1989 年）に創設された「文化庁長官表彰」を含め、府省庁・独立行政法人等の国の機関としては初めて文化庁長官から授与されたものです。

【概 要】

国立印刷局は、日本銀行券の製造をはじめ、官報、パスポートなど国民生活に密着した製品を製造している組織です。当法人は、明治 4 年（1871 年）に大蔵省紙幣司として創設され、国民の皆様からの「信頼」に支えられ、令和 3 年に創立 150 年を迎えました。国立印刷局には、高度なアートの力（芸術性と技能）を有した「工芸官」と呼ばれる専門職員が在籍しており、国民経済に不可欠なインフラストラクチャーである日本銀行券やパスポート等のデザインや原版製造は、「工芸官」が担っております。

国立印刷局では、令和 4 年度から国内の芸術系・美術系大学の学生を対象として、高度なアートの力（芸術性と技能）を有した工芸官の高い技術と細密な彫刻を次世代に伝え、継承することが、文化・教育活動の一助に繋がるものとして、講義を開始しました。令和 4 年度には 2 大学、令和 5 年度には 6 大学、令和 6 年度においては 4 大学と 1 専門学校で開催し、美術や芸術を学ぶ学生のキャリアプランの可能性と選択肢を提供する機会として実施しております。

国立印刷局が製造する日本銀行券などの原版作製では、現在でも工芸官による手仕事の中核をなしており、ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられます。このビュランを使いこなすには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。この講義は、国立印刷局の工芸官がどの様に緻密な画線を彫り進めているかを知ることができます。

このような取組は、日本銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報として、日本の伝統文化が独自性のある産業として結実した姿を外部に発信するとともに、国立印刷局におけるモノづくりが古来から続

く日本文化及び伝統技能の確認、継承の場となっていること、また、工芸官のアートの質の高さが製造する製品の偽造防止技術の基盤となっていることから、国立印刷局が長年培ってきた工芸官の高い技術を国民の皆様
に知って頂くことを目的とした、社会貢献活動の一環でもあります。

多摩美術大学 絵画学科版画研究室 准教授 大矢雅章のコメント

多摩美術大学は、1935年の創立以来、ゼロからイチの価値を生み出す「創造的な力」を持つ人材を育成し、現代社会に貢献する優れた芸術家、デザイナー、教育者、研究者を数多く輩出してきました。東京都世田谷区と八王子市にキャンパスを構え、絵画、彫刻、工芸、グラフィックデザイン、工業デザイン、情報デザイン、建築、映像、演劇、舞踊、芸術学など、アートやデザインから身体表現までを網羅する15学科・専攻・コースと大学院を擁する美術系総合大学です。

本学の版画専攻は、絵画学科の中で独立した専攻として位置づけられ、国内最大規模の施設と学生数を誇ります。木版画、銅版画、リトグラフ、シルクスクリーンといった伝統的な版画技法に加え、デジタル表現や写真、ブックアートなど多様な表現方法を学びながら、アートとデザインを横断しながら独自の視点で創作を探究する人材の育成に力を入れています。

近年の紙幣制作では、凹版画の高度な技術と最新のデジタルテクノロジーが融合しています。この講義は学生にとって、現在の印刷技術が自身の学びと直結していることを実感できる貴重な機会となると期待しています。

今回の特別講義では、本学の卒業生であり、第一線で活躍する工芸官を講師として招き、後輩たちへの凹版画彫刻技法の直接指導を行います。学生にとって、実務の最前線で活躍する先輩の指導を受けられることは、卒業後のキャリアを考える上で大変有意義な学びの場となるでしょう。

取材のポイント

これまであまり外部に出ることのなかった国立印刷局のビュラン彫刻技術の特別講義について取材ができます。通常はメディアに顔を出さない工芸官*が、実際に学生へ向けてその知識や知見の一端を説明しながら解説する特別講義です。

*工芸官の顔の撮影、名前等には、制限がありますので、予めご承知おき願います。

*工芸官展示品の一部、撮影不可なものがございしますので、予めご承知おき願います。

*特別講義の進行を中断するような取材撮影は、ご遠慮ください。

【取材対応】

□取材を行う場合は、事前申し込み（5月29日（木）まで）が必要です。

□取材の申込のあった方に、集合場所等や連絡事項をお伝えします。

また、特別講義における申し込み各社に対して、国立印刷局広報官室より事前レク（資料配布あり）を行いますので、予めご承知おき願います。

□事前レク

日 時：5月30日（金）12:30-（20分程度）

場 所：絵画北棟3-107B教室



【開催詳細】

□日 時：2025年5月30日（金）（12：00～13：00 昼休み）

13:10 - 13:40 スライドレクチャ 「国立印刷局の事業案内紹介、工芸官の紹介」

13:40 - 14:20 凹版彫刻の実演 「凹版彫刻技法等の説明、エングレーヴィングの実演」

14:20 - 16:20 凹版彫刻の実技指導 「工芸官が学生にエングレーヴィングの実技指導」

□受講対象：多摩美術大学 絵画学科版画専攻の学生

□場 所：多摩美術大学八王子キャンパス（東京都八王子市鍵水2-1723）

□アクセス：

* JR横浜線・京王相模原線橋本駅北口から神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約8分

* JR八王子駅南口から京王バスで約20分

他大学での特別講義の様子（2023年4月実施）



〈本件に関するお問い合わせ先〉

多摩美術大学 広報部広報課

(取材のお問い合わせはこちらにお願いいたします)

E-mail : kikaku@tamabi.ac.jp

〈工芸官に関するお問い合わせ先〉

国立印刷局 広報官室

Tel.03-3587-4210 / E-mail : proffice@npb.go.jp